

映画『海難1890』鑑賞とトークショー

海つながり ～ 絆 ～ トルコ料理

海の京都 X 和歌山串本（対談）

イスタンブールサライ(特別ディナー・ワンドリンク)

開催日：2015'

12/13 (日)

映画は80名様まで トークショーは40名様まで先着順

- 映画『海難1890』作品の詳細は裏面をご参照ください。
- ◆ 奇跡の実話を壮大なスケールで描く『海難1890』団体鑑賞の実施が決定しました。映画で感動の涙とトルコとの絆を感じてください。
- ◆ 鑑賞後はトルコ料理店へ直行。
- ◆ トークショーと対談「海の京都」天橋立より観光推進協議会×和歌山串本町。◆そして本場トルコ料理をご賞味いただきます。
- ◆ 映画のみのご鑑賞も団体鑑賞指定席券でご入場いただきます。
- ◆ トルコ料理から参加の方は直接会場へ夕方4時にご集合ください。



● お店情報 ● 地図裏面

T ジョイ京都 団体鑑賞指定席
(京都駅西イオンモール5階)

受付：12:00～12:45

トルコ料理イスタンブールサライ
(河原町三条アサヒ会館北を東入
すぐ 3階のトルコの国旗が目印)

お1人さま 4,500円

映画団体鑑賞指定席券とトルコ料理
代 (ワンドリンクが含まれます)

● 集合時間 ●

受付：12:00～12:45 チケットもぎり前 Com aqua ブースでお待ちしております。
途中入場はできませんので余裕を持ってお越しください。

● 申込み先： 一般社団法人 Com aqua 事務局

E-mail: info@comaquaa.org FAX: 075-708-8006 当日の連絡先 TEL:090-5653-8743

主催：一般社団法人 Com aqua

協賛・協力・後援：東映・京都コンヤ友好協会・ターキッシュエアラインズ・京都府「海の京都」観光推進協議会・和歌山県・熊野南紀連盟・串本町観光協会・トルコ料理店イスタンブールサライ・日土貿易協会・日本トルコ文化協会・セブンイレブン記念財団・(株)ティ・ジョイ京都・京都和歌山県人会有志のみなさま

■ 内野聖陽 ケナン・エジェ 忽那汐里 アリジャン・ユジェソイ

小澤征悦 宅間孝行 大東駿介 渡部豪太 徳井優 小林綾子 螢雪次朗 かたせ梨乃
夏川結衣 永島敏行 竹中直人 笹野高史

■公式サイト <http://www.kainan1890.jp>

■【STORY】

1890年の和歌山県紀伊大島樫野(現:串本町)。この地に暮らす医師・田村(内野聖陽)は、貧しい者を親身になって診察することから村民の信頼を集めていた。彼の傍には許婚を海難事故で亡くしたショックから口がきけなくなったハル(忽那汐里)が、いつも助手として就き従っている。同年9月、日本への親善使節団としての使命を終え、帰路についたトルコのエルトゥールル号は台風に遭遇した。暴風雨の中、船は樫野崎沖で沈没。島中に響き渡る船の爆発音を聞いた住民たちは、岸壁で漂着した膨大な数の死体と船の残骸を発見する。住民は総出で救出活動を行い、田村とハルは救護所でけが人の手当てに追われる。救護所に運び込まれた海軍機関大尉のムスタファ(ケナン・エジェ)は呼吸が止まっていたが、ハルの懸命な心臓マッサージで息を吹き返した。翌日、生き残った乗組員は69名と判明。実に500名以上が犠牲になった大惨事だった。自分が生き残ったことに罪悪感を覚えて苦悩するムスタファは、やり場のない怒りを田村にぶつけた。田村は漂着物を綺麗に磨いて、母国の遺族に返そうとする村人たちの姿をムスタファに見せる。ムスタファの胸には、人を想う日本人の深い真心が刻まれた。

1985年のイラン・テヘラン。空爆が続く地下避難壕でトルコ大使館の職員ムラト(ケナン・エジェ)と日本人学校の教師・春海(忽那汐里)は出会った。やがてサダム・フセインが48時間後にイラン上空を飛行するすべての飛行機を無差別攻撃すると宣言。日本大使・野村(永島敏行)は救援機を要請するが、日本では迅速な対応が難しい状況にあった。その間にも他の国々では救援機が到着し、徐々に日本国民だけが取り残されていく。日本から来た技術者・木村(宅間孝行)は、イラクからの砲撃が続く状況に危機を感じながらも、すでに家族と脱出を諦めていた。だが春海は子供たちを救うために奔走し、野村にトルコに救援機を頼むように進言。野村の要請を受けたトルコのオザル首相は、救援機を飛ばすことを承諾する。ところがテヘランの国際空港には日本人の他に、救援機を待つトルコ人たちが溢れていた。その状況を見た木村たち日本人は、飛行機に乗ることを諦めかける。そのときムラトはトルコ人に対して、かつて日本人から自分たちが受けた真心の歴史を語り始めた……。

